

令和3年度
社会福祉法人 友垣福祉会

ラスカル保育園

事業報告書

令和3年度 ラスカル保育園年間事業報告書

1 ラスカル保育園々舎、敷地の管理規模

所在地 沖縄県うるま市石川1916番地7

敷地面積 1,482㎡

施設面積 1階 420.21平方メートル

2階 241.07平方メートル

符号1

物置 鉄筋コンクリート造陸屋根平家建 12.87平方メートル

2 児童定数及び職員数の管理及び確保（年度末）

☆ 児童定数 75名

令和3年度児童数（年度末人数） 79名

内 訳

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	8名	12名	15名	15名	15名	10名
園児数	9名	13名	15名	14名	16名	12名
職員数	3名	3名	3名	1名	1名	1名

主任保育士1名 フリー保育士 2名 保育補助 6名
その他 園長 事務1名 調理2名

☆ 職員総数 25名

3. 職員研修

今年度は新人保育士が5名入職しましたので、コロナ感染症の影響もありましたが、努めて土曜日に時間を設定し園内研修を行い学びの機会としました。クラス内の園児の成長や家庭環境を周知しケース会議・気になる子の情報交換 更に、外部で受けた研修の報告会も行いました。

今年度は、コロナの影響もあり外部研修は、ほぼリモートの研修になりましたが、特に新人職員は開催された研修は機会をとらえ園内や自宅に帰ってからでも受けてもらうようにしました。ベテラン職員に関しては、特にキャリアアップの研修で、専門分野別のべ8項目の中から研修を受けることで、保育士としての資質をさらに向上させる機会が得られ園内研修でも他の職員に申し送りしてもらいました。うるま市主催の職員研修等も受講し、特に虐待防止の研修は、発見の機会が多いとされる保育園施設では、大事な研修ととらえ毎年受講し気持ちを新たに学びの機会を持つようにしました。

又、兼ねてから理事の皆さんからもご意見がありました緊急な場合のAEDの使い方と講話を消防職員にお願いし実践的な勉強をすることができました。さらに、児童発達心理士さんに来てもらい現場での悩みやかかわり方等実践に役立つ勉強会を年に2回持ちました。

なお、各クラスの園児の成長発達の経過について毎月情報を共有することで、成長の状況や課題を共有し担任以外でも声掛けや対応ができる体制を作り、より理解を深めることができました。その他、保育の技術を深め専門性を高めるためにコロナ感染と行事のとらえ方を専門家の講話の研修・食物アレルギーの研修会等、保育士・調理員が参加しました。

4 保育活動

今年も、コロナ禍の中で保護者が室内に出入りすることは、極力遠慮していただきながらも、行事のあり方も徐々に緩和し室内換気や人数制限の入れ替え制で運動会や体育指導の様子を見てもらう機会をつくり保護者に好評を得ることができました。通常保育の中では、天気のよい日は園庭での砂や土とふれあい お散歩や公園あそびで体を動かし、秋の遠足では大型バスにのって子供のくにへ行き楽しい時間を過ごすことができました。季節の野菜も園内の畑で育て、目の前で成長をみることで、お世話 収穫と調理そして実際に食べるまでの一連の流れを行う事で苦手な野菜にも親しむことができました。

(サラダ菜・グリーンピース・人参・大根・キャベツやブロッコリーすいか等)

4. 5歳児クラスでは、石川岳へAコースの登山を行ったところ、さらにBコースへも行きたいという希望があり後日再チャレンジをしています。

例年どおり卒園する園児は保護者との面談をもち、次の学校へのつなぎの話し合い

を担当が1対1でじっくり話し合い保護者支援につなげています。

今年も地域活動として城北区自治会の新しい公民館までハロウィンの仮装で行列を作り全員で踊りを踊ったりと地域の方との交流をもちました。コロナ感染症もあり、家庭保育の協力もありクラスの園児全員がそろそろ事もままならず行事の練習や遊びも少人数になりがちだったので、経験不足を補う形で、少しでも経験できることを各担任が思考を凝らして保育しました。

5 特別保育事業

延長保育の利用は、保育時間外や夕方6時から7時までの間で日々の単発利用者と合わせて年間延べ230名の利用がありました。今年度はコロナの影響もあり、早めのお迎えが多く延長利用は例年に比べ少ない状況で、一日平均はわずか1名から2名ですが二名の職員で預かっています。

6 ボランティア活動

ちびっこ掃除団は、コロナ禍の中なので他園と集まることはせず、各園での活動に切り替えましたが、1月の嘉手苅観音堂は、子供たちの健康祈願の為、由来の説明を行い5歳児のみで千羽鶴を奉納手を合わせに行きました。

7 児童及び職員の健康管理と福利厚生

児童の歯科、内科検診、蟯虫検査、尿検査は基準にそってそれぞれ年2回行ないました。又、検温と消毒ができる機械を取り入れいち早く感染状況を把握する目的で家族全員の健康チェック表で、健康状態の確認を念入りに行い、気になる症状はお迎えをして頂くように協力してもらいました。コロナウイルスの感染で手洗いとうがいの励行が推進されたせいか、インフルエンザ等の感染症が一人もなく手洗いとうがいの大切さが改めて再確認されました。残念ながら、保護者の家族間感染や職員二名の感染があり対応に追われましたが、役所の指示を仰ぎ適正に保護者へのお知らせを行い理解と協力を頂き二日間の休園はありましたが、感染拡大はなく運営できました。

8 予算の管理執行

今年度は、新人5名につづき、年度途中ではありましたが3名の保育士の採用があり0歳児の園児の入園が途中3名あり行政側と保護者に喜んでもらいました。うるま市の補助金事業には積極的に申請し、職員を充てることでうるま市事業への参加をおこないました。

9 その他

- ※ 児童相談所や児童家庭課との連携で、園児の安全面と園での様子 虐待を視野にいれた親子間の関わり等を把握し、双方で報告を密に行い状況確認に努めました。
令和3年度の間い合わせ件数 4件

- ※ 配慮を要する子の支援に向け、保護者と面談を重ね専門機関につなげることで小学校でのヘルパーの加配の申請を行いました。
(保護者との面談・ヘルパー加配申請・のびのび相談・支援事業所との連携)

- ※ 学生の実習受け入れで、年少児の保育に親しんでももらいました。
- ※ 小学校生活がスムーズに、いくよう卒園児の申し送り等もしっかり行いうことで小学校の先生に現場の様子を見てもらうことで園児理解をしてもらいました。

- ※ 避難訓練は、4月以外は欠かさず行い火事や地震津波を想定した中で、初期消火や避難指示や説明等を行い安全対策に努めました。

- ※ 新型コロナウイルスの為、卒園式の形式も短縮でしたが無事感動的な式を行う事ができました。これからも、社会の状況に対応しつつ安全かつ適正な保育園の運営に努めて行いたいと思う。